

令和7年版 消防年報



人吉下球磨消防組合

は し が き

この年報は、人吉下球磨消防組合の令和6年度中における消防業務に関する諸般の状況を収録し、将来の消防行政運営に広く活用していただくための資料として編集したものです。

なお、内容については、令和7年4月1日をもって収録しており、一部これらによらないものについては、当該各表に年月日を記載しています。

令和7年7月

人吉下球磨消防組合消防本部

◆ 目次

- ◆ 一目統計

○ 消防の現況

◆ 管内の概要、管内面積・人口及び世帯数	1
◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地	2
◆ 構成市町村の概況	3
◆ 令和6年度の主要行事	5
◆ 消防の沿革	6
◆ 消防組合の組織	11
◆ 消防本部及び署の組織	12
◆ 消防本部及び消防署の事務分掌	13
◆ 職員の配置状況と階級別現員	17
◆ 勤続年数別職員数	18
◆ 年齢別職員数	19
◆ 消防予算	20
◆ 職員の教育実施状況	21
◆ 職員の特殊技能・資格取得状況	22

○ 消防活動

◆ 消防用車両配置状況	23
◆ 消防用特殊資機材保有状況	24
◆ 消防水利	26
◆ 救助業務	27
◆ 火災統計	29
◆ 救急統計	32
◆ 通信関係	37

○ 予防業務

- ◆ 防火対象物現況 39
- ◆ 管内中高層建築物現況、防火管理者講習会実施状況 40
- ◆ 消防法令に基づく各種届出 41
- ◆ 建築物の同意件数、危険物施設・規制事務状況 42

○ 消防団 幼少年消防クラブ

- ◆ 消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数 43
- ◆ 幼年消防クラブの現況 44
- ◆ 保育園防火クラブ、少年消防クラブの現況 45
- ◆ 全国統一防火標語 46

◆ 一目統計

管内面積 人口・世帯



消防予算 構成・人事



機械・施設



火 災 救 救 急 助 (令和6年統計)



予 防



消防の現況

◆ 管内の概要

人吉下球磨消防本部は、熊本県南部にある人吉市の、東経 130 度 44 分 9 秒、北緯 32 度 13 分 0 秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成しています。

地理的空間は、南九州の三県庁所在地（鹿児島市・宮崎市・熊本市）のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つ清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、全長 115 キロメートルの流域を経て八代湾に注いでいます。

当消防組合管内は、南北に貫く九州自動車道があり、八代 IC と人吉 IC の区間は 1989 年に開通し、IC の間隔が日本一長い区間となっています。令和元年 8 月には人吉 IC とえびの IC の間に「人吉球磨スマート IC」が開通しました。

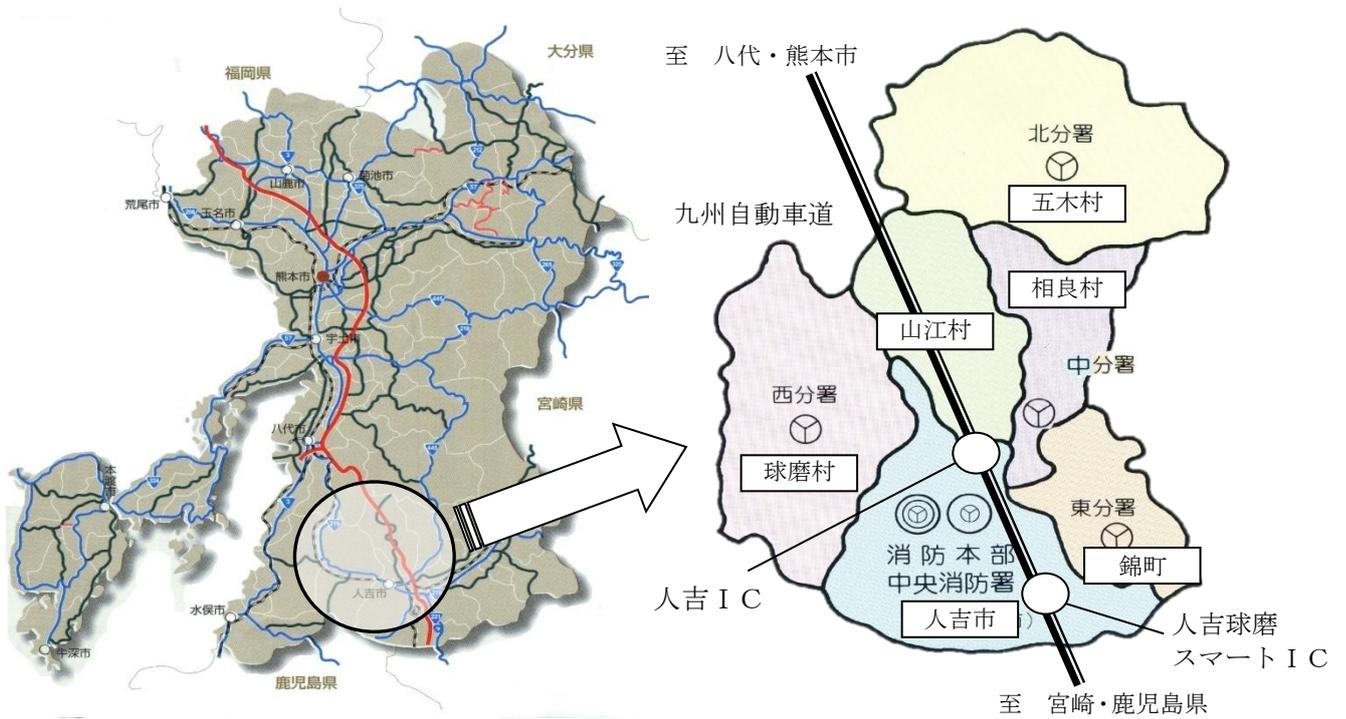
また、九州で最長のトンネル「肥後トンネル」と熊本、宮崎を跨ぐ「加久藤トンネル」を含んだ「えびの～八代間」を上下線方式により管轄しています。



◆ 管内面積・人口及び世帯数

	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)
人吉市	210.55	29,258	15,076
錦町	85.04	9,943	4,008
相良村	94.54	3,939	1,591
五木村	252.92	909	459
山江村	121.19	3,143	1,196
球磨村	207.58	2,605	1,183
計	971.82	49,797	23,513

◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地



	所在地	庁舎の構造 及び建築年	延床面積	敷地面積
消防本部 中央署	〒868-0083 熊本県人吉市下林町 1番地	鉄骨・ 鉄筋コンクリート 3階建て (平成元年)	2,908㎡ (庁舎 2,386㎡ 訓練塔 225㎡ その他 197㎡)	7,240㎡
東分署	〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 一武 1587番地 17	鉄筋コンクリート 平屋建て (昭和50年)	233.90㎡	1,062㎡
西分署	〒869-6403 熊本県球磨郡球磨村 一勝地甲 77番地 3	鉄筋コンクリート 2階建て (令和5年)	299.49㎡	984.12㎡
北分署	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672番地 80	鉄骨防火サイディ ング張平屋建て (平成22年)	270.25㎡	1,853.53㎡
中分署	〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 深水 2493番地 1	鉄筋コンクリート 平屋建て (平成元年)	210㎡	1,154㎡
人吉球磨 消防指令 センター	〒868-0501 熊本県球磨郡多良木町 3146番地 1	鉄筋コンクリート 2階建て (令和元年)	※上球磨消防組合消防本部内に所在	

◆ 構成市町村の概況

ひとよしし
人吉市



〒868-8601
熊本県人吉市
西間下町字永溝
7番地 1

Tel
0966 (22) 2111

にしきまち
錦町



〒868-0302
熊本県球磨郡錦町
大字一武 1587 番地

Tel
0966 (38) 1111

さがらむら
相良村



〒868-0094
熊本県球磨郡相良村
大字深水 2500 番地 1

Tel
0966 (35) 0211



青井阿蘇神社と球磨川くだり



人吉市は熊本県の最南部に位置しており、日本三大急流の一つである「球磨川」が東から西へ貫流しており、南は鹿児島、宮崎の両県に接しています。

九州の小京都と呼ばれ、平成20年に熊本県内で初めて国宝に指定された「青井阿蘇神社」、球磨川の清流を楽しめる「球磨川くだり」、疲れた体を癒してくれる「人吉温泉」、各種銘柄が楽しめる「球磨焼酎」等、観光地として古くから親しまれています。また近年では、球磨川でのラフティングが大きな人気を集めています。



球磨川沿いのツクシイバラ



錦町は熊本県の南部に位置しており、町内の中心部を国道 219 号が東西に横断し、国道と並行して北寄りに約 2km 隔てて日本三大急流のひとつである「球磨川」が西流しています。初夏になると、球磨川河川敷には町花である『ツクシイバラ』が咲き乱れます。

本町の基幹産業は農業であり、南部の山麓地帯は『梨・桃』、北部の丘陵地帯は『茶』の産地となっており、中央部では球磨川が育んだ肥沃な大地からとれる良質な米が生産されています。



清流川辺川と雨宮の森



相良村は、球磨郡のほぼ中央に位置し、清流「川辺川」が北から南へ貫流する、豊かな自然と古の先人が残してくれた歴史と伝統が息づく山紫水明の農山村です。

県内一の生産量を誇る「茶」等、農林業が主産業であり、「水と緑を活かした潤いある村づくり」に取り組んでいます。

また、緑に包まれ澄んだ流れの川辺川をはじめ、四季折々の豊かな相良村の表情を1年中楽しむことができます。

いつきむら
五木村



〒868-0201
熊本県球磨郡五木村
甲 2672 番地 7

Tel
0966 (37) 2211



カヤックとバンジージャンプ

五木村は、熊本県の南部に位置し、村のほぼ中央を水質日本一の清流「川辺川」が貫流し、四季折々の自然を感じられる村です。

近年は観光拠点も整備され、九州で唯一のブリッジバンジー、地域資源を活かしたカヤック・サップ、ツリークライミング、サイクリング等が楽しめる「アウトドアフロンティア」としても注目されています。

また、幻の柑橘「くねぶ」や6片にんにくを使用した製品・加工品も多くの方々より好評をいただいております。

やまえむら
山江村



〒868-8502
熊本県球磨郡山江村
大字山田甲 1356 番地 1

Tel
0966 (23) 3111



山江村特産品の栗とボンネットバスマロン号

のどかな田園風景と緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる農山村です。

農地を潤す豊かな山田川と美しく澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な土地柄で大変おいしい米、野菜、果樹等が育ちます。

特に、万江川はヤマメや鮎などが生息する九州でも有数な清流であるとともに、盆地特有の気候を利用して良質な栗の栽培に力を入れており、トップブランド化を図っています。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財「山田大王神社」や産業考古学推薦産業遺産「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれています。

くまむら
球磨村



〒869-6401
熊本県球磨郡球磨村
大字渡丙 1730 番地

Tel
0966 (32) 1111



棚田とラフティングと一勝地温泉

急流と鍾乳洞の里「球磨村」は、熊本県南部、人吉球磨地域の西端に位置する自然豊かな山村です。

日本三大急流「球磨川」が東西に流れており、鮎釣りやラフティング等を楽しむ人が増えています。また、先人が築き受け継がれている日本棚田百選の「松谷棚田」、「鬼ノ口棚田」をはじめとした美しい棚田が数多く点在しています。

このほか、しっとりとした肌触りの美肌効果の高いアルカリ性天然温泉「一勝地温泉かわせみ」や、3億年もの歳月がつくりあげた九州最大級の鍾乳洞「球泉洞」があります。

◆ 令和6年度の主要行事

4月	初任科第69期入校式 熊本県消防長会春季総会 第47回熊本県消防職員意見発表会（八代市） 全国消防長会九州支部総会（大分県別府市）
5月	消防団長、消防協会支部長、市町村消防担当課長、消防本部総務課長会議 城南ブロック消防本部協議会警防・通信課長会（当消防本部） 第50回熊本県消防救助技術大会 第76回全国消防長会総会（大阪府堺市）
6月	高速道路上での消防活動時等における安全管理講習会 第32回球磨郡消防ポンプ操法大会 議会全員協議会
7月	城南ブロック消防本部協議会総務課長会（水俣芦北消防本部） 熊本県警機動隊との合同潜水訓練 熊本県消防長会総務担当課長会議（荒尾市） 第52回九州地区消防救助技術指導会（福岡県） 城南ブロック消防本部総務課長会議（八代消防本部）
8月	熊本県救急担当課長会（上益城消防本部） 潜水訓練及び舟艇操舵訓練（球磨川、熊本県消防学校） 水上バイク操舵訓練及び救出訓練（芦北町） 第35回熊本県消防操法大会 議会全員協議会
9月	城南ブロック消防本部協議会署長会（上球磨消防本部） 初任科第69期卒業式 救急フェア2024 熊本県消防長会警防・通信担当課長会議（WEB）
10月	熊本県消防長会秋季総会（上球磨消防本部） 人吉下球磨消防連絡協議会秋季会議 城南ブロック消防本部水難救助合同訓練（八代市）
11月	秋季全国火災予防運動 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（長崎県） 山岳（遭難）救助・行方不明者捜索・情報伝達訓練（五木村） 議会全員協議会
12月	救急活動シミュレーション訓練 久七トンネル防災訓練 城南ブロック消防本部協議会警防技術錬成訓練（上球磨消防本部）
1月	構成市町村消防団出初式 AFT 火災想定訓練（熊本県消防学校） 救急研修会（八代消防本部）
2月	人吉下球磨消防連絡協議会春季会議 議会全員協議会
3月	春季全国火災予防運動 行方不明者捜索訓練（人吉市、五木村、球磨村） 城南ブロック協議会特別研修（水俣芦北消防本部）

◆ 消防の沿革

◇ 消防組合前の沿革

昭和22年	12月	消防組織法制定公布
昭和23年	4月	人吉市役所総務課内に消防係を新設（職員数1名） 水槽付消防ポンプ車購入、職員新規採用1名（職員数2名）
昭和24年	1月	常備消防発足、職員新規採用6名（職員数8名）
昭和26年	1月	消防ポンプ車購入（2号車）、職員新規採用8名（職員数16名）
昭和27年	7月	人吉市消防本部設置、初代消防長 豊永芳太郎 就任（市助役兼務）
昭和28年	6月	消防ポンプ車購入（3号車）
昭和30年	4月	職員新規採用2名（職員数18名）
	9月	第2代消防長 内藤四郎 就任（市助役兼務）
昭和33年	12月	職員新規採用3名（職員数21名）
昭和34年	9月	人吉市消防署設置
	12月	職員新規採用6名（職員数27名）
昭和35年	6月	職員新規採用4名（職員数31名）
	9月	小型動力ポンプ購入
昭和36年	10月	条例改正により定員38名となる
	12月	第3代消防長 久保田槻生 就任（専任消防長）、司令車購入
昭和37年	1月	消防庁舎新築落成（人吉市新町16番地）
	3月	消防無線設置（基地局1・移動局1）
昭和39年	1月	職員欠員補充2名
	3月	消防ポンプ車（ニッサン）日本損害保険協会から寄贈
	4月	職員新規採用1名（職員数32名）
	7月	職員新規採用1名（職員数33名）
昭和40年	9月	救急車（B級）人吉ライオンズクラブから寄贈
昭和42年	12月	職員新規採用5名（職員数38名）、消防ポンプ車更新
昭和43年	4月	職員欠員補充1名
昭和44年	9月	第4代消防長 鳥飼雄吉 就任（市助役兼務）
昭和45年	1月	職員欠員補充2名
	4月	職員欠員補充2名
	11月	水槽付消防ポンプ車（1号車）更新
昭和46年	4月	救急車（A級）日本損害保険協会から寄贈 職員新規採用3名（職員数41名）
	11月	消防無線狭帯化に伴い無線機を更新
昭和47年	1月	職員新規採用1名（職員数42名）
	9月	消防ポンプ車（3号車）更新
昭和48年	5月	職員欠員補充1名
	10月	救急車（ニッサン）購入

◇ 消防組合の沿革

昭和49年	4月	人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署発足（人吉市から職員42名、消防車5台、救急車2台） 初代消防長 上原 茂 就任 職員新規採用12名（職員数54名）
	7月	職員新規採用12名（職員数66名） 中央消防署西分署（球磨村）仮庁舎にて業務開始、消防車（球磨村から譲渡）1台・西分署職員数7名 司令車（三菱コルト）一部負担、県消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	中央消防署東分署（錦町）仮庁舎にて業務開始、消防車（錦町から譲渡）1台・東分署職員数7名 中央消防署北分署（五木村）仮庁舎にて業務開始、積載車（五木村から譲渡）1台・北分署職員数7名
	12月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本自動車工業会から寄贈、北分署に配備・救急業務開始
昭和50年	1月	東分署・西分署新庁舎落成、新庁舎にて業務開始 救急車（ニッサンキャラバン2B）購入、西分署に配備・救急業務開始
	3月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本損害保険協会から寄贈、東分署に配備・救急業務開始
	4月	職員新規採用13名（職員数79名）
	12月	広報車（ニッサングロリア）購入、中央消防署に配備 梯子付消防ポンプ車（モリタ24 [㍉] 級）購入、中央消防署に配備
昭和51年	9月	水槽付ポンプ車（モリタ・三菱、水槽1.5 t）2台購入、東分署及び西分署に配備
	10月	消防ポンプ車（日機・トヨタ）日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和52年	4月	第2代消防長 竹本 望 就任
	9月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL1,600cc）2台購入、東分署及び西分署に配備
	11月	消防ポンプ車（モリタ・三菱、水槽1.5 t）購入、北分署に配備
昭和52年	11月	北分署積載車を資機材搬送車に改造し、中央消防署に配備

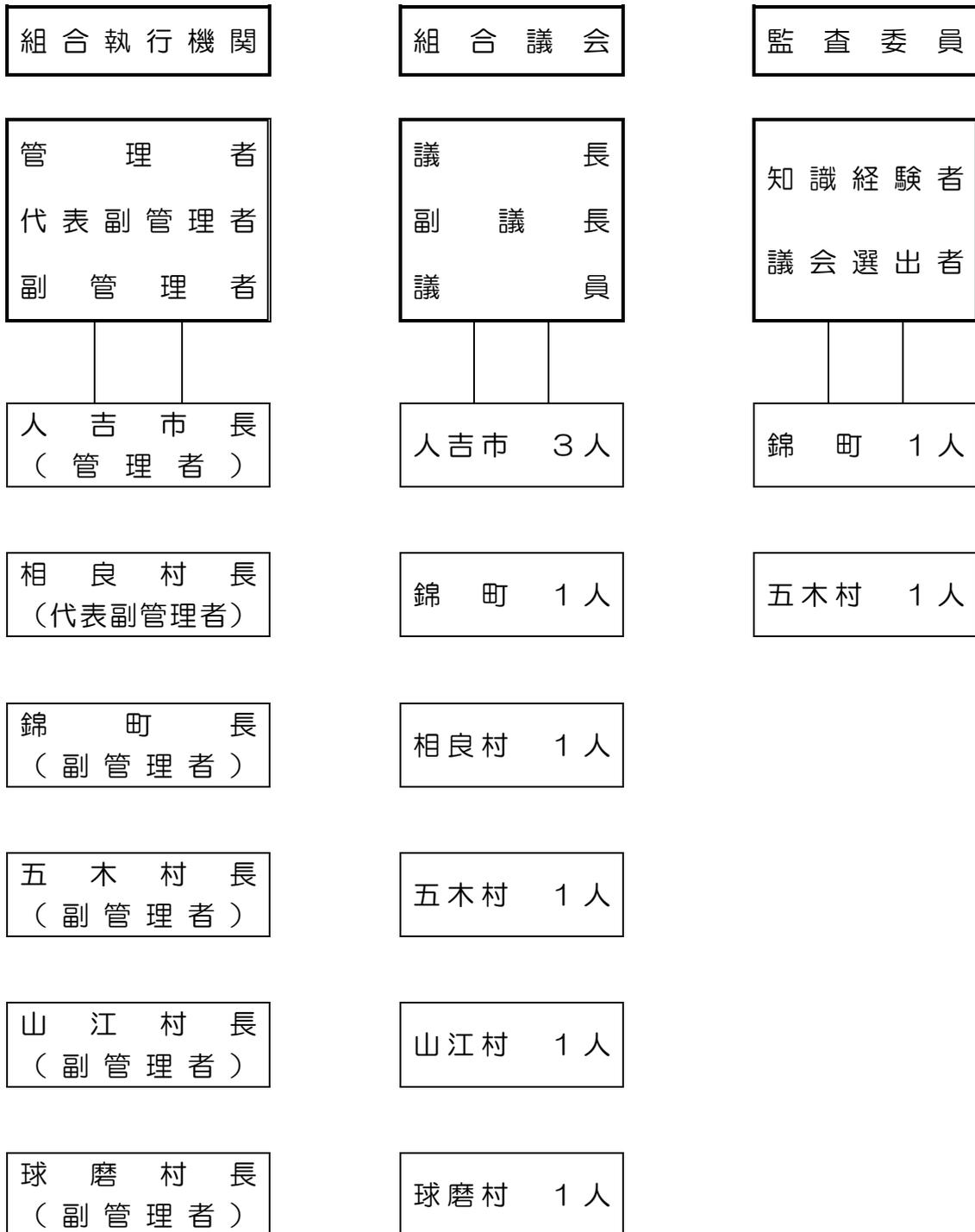
昭和53年	7月	消防ポンプ車（ニッサン）1台購入、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL1,600cc）北分署に配備
昭和54年	12月	査察広報車（トヨタマークII GL 1,800cc）消防本部に配備
昭和55年	3月	救急車（ハイエース2B）県農協共済連から寄贈
	12月	救助工作車（日機）1台購入、中央消防署に配備
昭和56年	4月	職員1名採用
	11月	広報車（トヨタマークII乗用車）購入、消防本部に配備 防火広報車（トヨタ9人乗り）（財）日本防火協会から寄贈
昭和57年	3月	消防本部の組織に関する規則改正、予防係を予防課に昇格
	4月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数85人とする
	6月	消防職員欠員補充1名、新規採用6名（職員数85名）
	9月	救急車（ニッサン2,000cc）日本消防協会から1台寄贈 北分署に配備
	11月	水槽付ポンプ車（ドライケミカル・日野、水槽2t）中央消防署に配備
昭和58年	11月	人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会設立（15団体、1,250人）
昭和59年	3月	救急車（トヨタ2B）西分署に配備
	9月	第3代消防長 山本澄雄 就任
昭和60年	3月	救急車（トヨタ2B）東分署に配備
	4月	救急車（トヨタ2B）県農協共済連から寄贈
	6月	人員搬送車（ニッサンマイクロバス3,300cc）サンロードから寄贈、中央消防署に配備
	9月	第4代消防長 岩本康資 就任
	11月	消防ポンプ車（日本ドライケミカル・三菱）中央消防署に配備 人吉下球磨幼年消防大会開催（18団体 1,398人）
昭和61年	4月	職員欠員補充2名
昭和62年	1月	指揮車（ハイエースバン2,400cc）中央消防署に配備
昭和62年	8月	救急車（トヨタ2B）日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和63年	4月	職員欠員補充2名
平成元年	4月	職員欠員補充1名 消防庁舎新築移転（人吉市下林町1番地）業務開始 組織機構改正（3課1室） 相良分遣所開設（分遣所職員数8名体制）
	8月	消防緊急情報システム（II型）導入
	10月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数91名 職員新規採用6名（職員数91名）
	12月	九州縦貫高速自動車道開通 救急業務開始
平成2年	4月	救急車（トヨタ2B）(有)岩下産業から寄贈 中央消防署に配備 職員欠員補充1名
	11月	第1回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催（毎年開催）
	12月	事務連絡車（ニッサングロリア1,990cc）購入、消防本部に配備
平成3年	1月	査察車（トヨタカローラ1,290cc）購入、消防本部に配備
	3月	救急車（ニッサン2B）安田生命から寄贈、相良分遣所に配備
	4月	水槽付ポンプ車（A-II型・日本ドライケミカル三菱）東分署に配備 職員欠員補充1名
	8月	水槽付ポンプ車（吉谷機械製作所・いすゞ1.5t）日本損害保険協会から寄贈 寄贈車両 西分署に配備
	10月	広報車（ニッサンアベニール1,590cc）購入、東分署に配備
平成4年	11月	職員欠員補充1名
	12月	広報車（ニッサンADワゴン 1,500cc）購入、西分署に配備
平成5年	2月	消防ポンプ車（A-II型・いすゞ3,600cc）北分署に配備
	3月	週40時間制勤務試行（隔日勤務者、8週16休）
	7月	完全週休2日制へ移行
平成6年	3月	高規格救急車（トヨタハイメディック4,000cc）中央消防署に配備
	6月	救急指導車（トヨタ4,000cc）岩下産業から寄贈、中央消防署に配備
	10月	消防組合発足20周年記念式典
平成7年	1月	第5代消防長 高橋昭三 就任
	2月	定数条例改正（91名を103名へ）
	3月	2部制勤務より3部制勤務へ移行 水槽付ポンプ車（A-II型・日本ドライケミカル日野1.5t）相良分遣所へ配備
	4月	組織機構改正（消防本部警防課を廃止し企画情報課に、中央消防署に消防課設置）
	5月	職員新規採用3名（職員数94名） 職員欠員補充1名
	7月	中央消防署予備ポンプ車廃車、管内保育園へ寄贈 加久藤トンネル防災訓練・九州自動車道人吉～えびの間供用開始 救急車（ニッサン 3,000cc）JA共済連から寄贈、東分署に配備 東分署仮眠室全面改装（ベッド設置）

	9月	第1回「救急フェア '95」開催（毎年開催）
平成8年	12月	欠員補充1名（職員数94名） 事務連絡車（フォード1,800cc）（株Misumiから寄贈、消防本部に配備）
	2月	資機材搬送車（いすゞ 2tロング 4,300cc）中央消防署に配備
	3月	第1回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '96」開催（平成19年第12回まで実施）
	4月	職員新規採用3名（職員数97名） 職員欠員補充3名
平成9年	5月	司令車更新（トヨタ 2,000cc）中央消防署に配備
	11月	西分署事務室及び仮眠室全面改装（ベッド設置）
	2月	職員欠員補充2名（職員数97名）
	3月	化学消防車購入（三菱 8,200cc A-II型 日本造機）中央消防署に配備 北分署救急車更新（トヨタ 3,000cc 2B） 高規格救急車（トヨタハイメディック）（社）日本損害保険協会から寄贈 更新による救急車2台廃車、管内医師会へ寄贈 高規格救急車（トヨタハイメディック）東分署に配備 北分署庁舎新築移転（仮庁舎）
平成10年	4月	職員新規採用3名（職員数99名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名 東京消防庁杉並消防署と友好協力関係確認書の取り交し
	7月	消防活動二輪車隊「レッドアタッカー」発足（ホンダ車5台）、中央消防署に配備 職員欠員補充1名（職員数100名）
	4月	職員新規採用3名（職員数103名） 職員欠員補充1名
	3月	熊本県消防学校派遣教官出向1名
平成11年	3月	梯子付消防自動車（モリタ30 ^{cc} 級）購入、中央消防署に配備
	4月	職員新規採用2名（職員数103名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	6月	職員新規採用1名（職員数103名）
	11月	相良分遣所を中分署に昇格
平成12年	12月	水槽車（三菱ザ・グレード 11,140cc）、中央消防署に配備
	1月	職員新規採用1名（職員数103名）
	4月	職員新規採用2名 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	高規格救急車（ニッサンパラメディック）中分署に配備
平成13年	10月	水槽付ポンプ車（三菱ファイター 8,200cc）北分署に配備
	4月	職員新規採用3名（職員数103名） 熊本県消防学校教官出向1名
	9月	熊本県知事救急功労賞表彰授与 救助工作車（日野レンジャー 8,000cc）中央消防署に配備
	11月	消防緊急指令装置（II型）更新 水槽付ポンプ車（日野レンジャー 8,000cc）日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
平成14年	4月	熊本県消防学校教官出向1名
平成15年	10月	第5回熊本県下消防大規模災害対応訓練（人吉市）
	4月	職員新規採用1名（職員数103名） 熊本県消防学校教官出向1名
	6月	職員欠員補充1名（職員数103名）
	9月	高規格救急車（トヨタハイメディック 3,400cc）西分署に配備
平成16年	10月	職員欠員補充1名（職員数102名）
	3月	消防組合発足30周年記念式典
	4月	定数条例改正 105名
	5月	職員新規採用2名（職員数103名）
平成17年	1月	第6代消防長 高澤敏雄 就任 職員新規採用3名（職員数104名）
	4月	定数条例改正 111名 職員新規採用2名（職員数106名） 熊本県防災消防航空隊出向1名
	4月	職員新規採用3名（職員数108名）
	平成18年	4月
平成19年	1月	防災研修車（ニッサンキャラバン 3,000cc）藤田株式会社から寄贈、消防本部に配備
	4月	第7代消防長 竹田文郎 就任 職員新規採用4名（職員数111名）
	5月	全国消防長会総務委員会（人吉市）
	平成20年	4月

		熊本県消防学校派遣教官出向1名
平成21年	6月	事務連絡2号車（スバルブレオ 650cc）退職者から寄贈、消防本部に配備
	9月	人吉下球磨幼年消防クラブ発足25周年式典
	3月	広報車（ニッサンティーダ 1,500cc）消防本部に配備
	4月	第9代消防長 原一幸 就任
平成22年		職員新規採用3名（職員数105名）
	7月	職員欠員補充1名（職員数105名）
	2月	中央消防署北分署新庁舎落成式
平成23年	4月	第10代消防長 犬童利夫 就任
		職員新規採用5名（職員数105名）
	3月	東日本大震災緊急消防援助隊現地派遣1,2次隊 10名（宮城県仙台市若林区、宮城野区）
		高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc 2台）東分署及び北分署に配備
平成24年	4月	第11代消防長 槻木孝至 就任
		職員新規採用9名（職員数105名）
		熊本県防災消防航空隊出向1名
	6月	予防査察車（ニッサンティーダ 1,500cc）消防本部に配備
平成25年	10月	熊本県消防長会秋季総会（人吉市）
	4月	第12代消防長 中村憲和 就任
		職員新規採用3名（職員数105名）
平成26年	2月	資機材搬送車（三菱キャンター 3,000cc）総務省消防庁より無償使用制度を活用し配備
		消防救急デジタル無線（共通波）開局式
	4月	第13代消防長 富田清一 就任
		定数条例改正 109名
平成27年		職員新規採用10名（職員数107名）
		高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）中央消防署に配備
	4月	職員新規採用4名（職員数107名）
平成28年		熊本県消防学校教官出向1名
	5月	人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典
	3月	事務連絡車（スバルインプレッサ 2,000cc）消防本部に配備
		タンク車（日野レンジャー 6,400cc）中央消防署に配備
平成29年	4月	消防救急デジタル無線（活動波）開局式
		第14代消防長 中山哲臣 就任
		消防救急デジタル無線（活動波）運用開始
		定数条例改正 110名
平成30年	4月	職員新規採用9名（職員数109名）
		職員新規採用3名（職員数105名）
		熊本県防災消防航空隊出向1名
		平成28年熊本地震熊本県消防応援協定に基づく消防隊現地派遣 1,2次隊（14名） 救急隊応援出動 1,2次隊（6名）南阿蘇村
平成31年		熊本県救急医療功労者知事表彰（北分署救急隊）
	9月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）中分署に配備
	12月	東分署にタンク車（日野デュトロ 4,000cc）配備
	1月	職員新規採用5名
令和元年	7月	九州北部豪雨発生 緊急消防援助隊として第1次隊から第7次隊まで派遣
	9月	熊本県救急医療功労者知事表彰（中分署救急隊）
	10月	第66回全国消防長会危険物委員会（人吉市）
	1月	タンク車（日野デュトロ 4,000cc CD-1）中分署に配備
令和2年		タンク車（日野レンジャー 6,400cc 水1-B）中央消防署に配備
	3月	災害救援車（ニッサンシビルアン）を岩下兄弟株式会社から寄贈、消防本部に配備
	4月	第15代消防長 深江政友 就任
		職員消防採用3名（職員数104名）
令和3年		組織機構改正 予防課（指導係・予防係）を予防課（予防係・危険物係）へ改編
		企画教養課、情報管理課を廃止し人事教養課（人事教養係、情報管理係）を新設
		通信指令課、救急課を廃止し警防課（警防通信係、救急係）を新設
	6月	職員新規採用4名（職員数108名）
令和4年	10月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）西分署に配備
	1月	特殊災害対応はしご付消防自動車（日野 30m級 8,900cc）中央消防署に配備
	4月	職員新規採用6名（職員数109名）
令和5年		熊本県消防学校教官出向1名
	5月	水難救助隊発隊
	6月	指揮2号車（トヨタランドクルーザープラド）中央消防署に配備
令和6年	12月	第一回警防技術大会開催
		指揮1号車（トヨタハイエース）中央消防署に配備
令和7年	1月	消防活動用重機（コベルコ SK55SR）中央消防署に配備

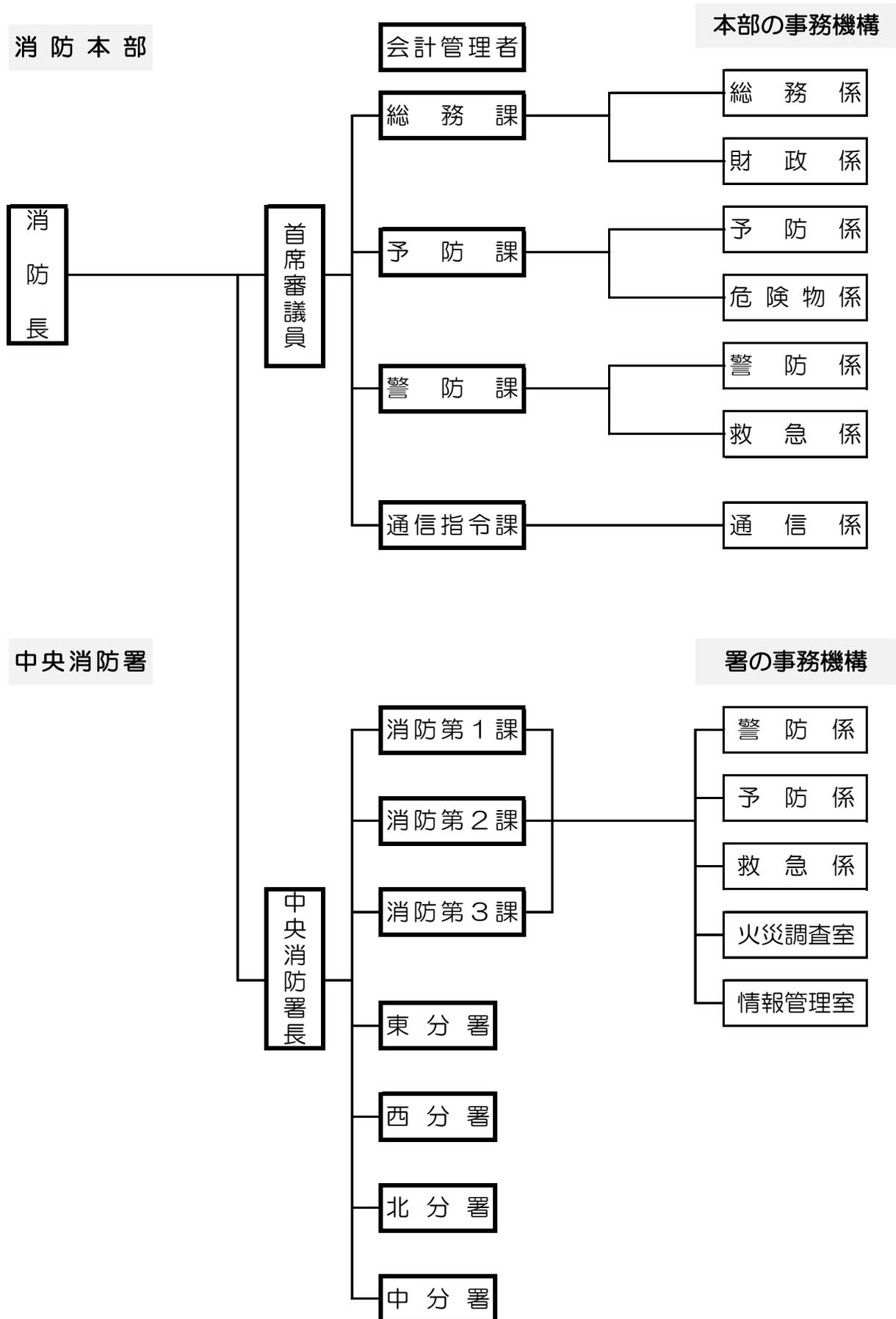
	3月	重機搬送車（いすゞ FORWARD 7,790cc）中央消防署に配備	
	4月	組織機構改正 通信情報課（通信係・情報係）を新設 警防課（警防通信係を警防係へ）を改編 職員新規採用1名（職員数109名）	
	6月	職員新規採用1名（職員数110名） 救助機動部隊発隊	
	7月	令和2年7月豪雨 4日未明から昼前にかけて県南地域で激しい雨が降り河川が氾濫し 中央消防署、西分署が浸水 消防車両等計12台を損失 近隣消防相互応援協定に基づく応援要請（上球磨消防、西諸広域消防、伊佐湧水消防） 緊急消防援助隊要請 （熊本市消防局、宮崎県大隊、佐賀県大隊、北九州市消防局、福岡県大隊、山口県大隊） 熊本県消防相互応援協定に基づき出動補完 県下10消防本部	
令和3年	12月	予防査察車（ホンダエヌバン）消防本部に配備	※水害補充
		事務連絡車1（ニッサンエクストレイル）消防本部に配備	※ //
		事務連絡車2（ニッサンノート）消防本部に配備	※ //
		事務連絡車3（トヨタシエンタ）消防本部に配備	※ //
	1月	司令車（トヨタエスクエア）消防本部に配備	※ //
	3月	タンク車（日野デュトロ 4,000cc）北分署に配備	※ //
		指揮2号車（トヨタランドクルーザープラド）中央消防署に配備	※ //
	4月	第16代消防長 豊永浩 就任 職員新規採用1名（職員数110名）	
	5月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）中分署に配備	
令和4年	9月	水難救助用ゴムボート3艇配備 水上バイク（ヤマハ発動機 総トン数：0.2トン）中央消防署に配備	
	1月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）東分署に配備	
	2月	タンク車（日野デュトロ 4,000cc）西分署に配備	
		定数条例改正 111名	
	4月	職員新規採用2名（職員数110名）	
令和5年	5月	人吉下球磨消防組合・上球磨消防組合消防指令業務の共同運用に関する協議確認書の締結	
	7月	人吉下球磨消防組合・上球磨消防組合消防広域化等に関する協議確認書の締結	
	3月	消防指令業務共同運用基本構想策定支援及び高機能消防指令センター基本設計業務委託完了 検査	
		救助工作車（日野 5,120cc）中央消防署に配備	
	4月	職員新規採用3名（職員数111名）	
令和6年	6月	西分署庁舎落成	
	4月	第17代消防長 中村健吾 就任 職員新規採用4名（職員数108名）	
	6月	職員新規採用2名（職員数110名） タンク車（日野 5,120cc）中央消防署に配備	
	10月	組織機構改正 通信情報課（通信係・情報係）を通信指令課（通信係）に改編	
	11月	高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）北分署に配備	
令和7年	12月	人吉球磨消防指令センター仮運用開始 通信指令課を人吉球磨消防指令事務協議会に派遣し、人吉球磨消防指令センターへ配置	
	4月	人吉球磨消防指令センター運用開始 職員新規採用2名（職員数111名）	
		組織機構改正 警防救助室、予防調査室、救急室を廃止し警防係、予防係、救急係、 火災調査室、情報管理室を新設	

◆ 消防組合の組織



※建制順

◆ 消防本部及び署の組織



◆ 消防本部及び消防署の事務分掌

1 消防本部の事務分掌

総務係	<ol style="list-style-type: none"> 1 本部及び消防署の組織に関すること。 2 公印に関すること。 3 議会に関すること。 4 文書の収発及び函書に関すること。 5 職員の福利厚生、公務災害及び共済その他保健に関すること。 6 職員の研修、教養及び人材育成に関すること。 7 条例、規則及び規程等の整備に関すること。 8 消防職員委員会、第三者委員会及びコンプライアンス委員会に関すること。 9 情報公開等審査会及び情報公開等判定委員会に関すること。 10 職員の相談窓口に関すること。 11 公告式に関すること。 12 陳情、請願及び投書の処理に関すること。 13 消防長会及び消防協会に関すること。 14 職員（退職者含む。）の表彰に関すること。 15 式典及び儀礼等の企画に関すること。 16 情報公開及び個人情報保護に関すること。 17 その他総務に関すること。
総務課 財政係	<ol style="list-style-type: none"> 1 監査に関すること。 2 予算、決算に関すること。 3 地方債及び国庫（県）補助に関すること。 4 地方交付税に関すること。 5 財政状況の公表に関すること。 6 財産の取得、処分及び管理に関すること。 7 契約に関すること。 8 組合経費に関すること。 9 給与の計算及び支給に関すること。 10 出納事務に関すること。 11 消防賞じゅつに関すること。 12 庁舎その他消防施設の維持管理及び更新に関すること。 13 物品及び貸与品に関すること。 14 寄附の採納に関すること。 15 職員の定数、配置及び事務に関すること。 16 職員の任免、分限、懲戒、服務、懲罰その他身分に関すること。 17 職員の採用試験及び昇任試験に関すること。 18 職員の人事評価及び人事記録に関すること。 19 消防学校等の入校に関すること。 20 その他財政に関すること。

予 防 課	予 防 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 建築物の許可、認可及び確認の同意に関する事。 2 防火対象物の立入検査及び措置命令に関する事。 3 防火対象物の防火管理の指導に関する事。 4 防火管理者の講習及び教育指導に関する事。 5 消防用設備等に関する事。 6 住宅防火に関する事。 7 防火思想の普及指導及び広報に関する事。 8 防火委員会に関する事。 9 消防連絡協議会に関する事。 10 防火対象物等の表彰に関する事。 11 その他予防係の分掌を相当とする事項
	危 険 物 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 危険物の規制に関する事。 2 危険物の許可、認可、承認及び指導に関する事。 3 危険物施設等の立入検査及び措置命令に関する事。 4 消防法（昭和23年法律第186号）第9条の3に係る届出及び液化石油ガスの貯蔵取扱いに係る意見書に関する事。 5 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）に基づく煙火の消費に係る事務に関する事。 6 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第149号）に基づく液化石油ガス設備工事の届出及び立入検査に関する事。 7 危険物施設等の表彰に関する事。 8 その他危険物係の分掌を相当とする事項
警 防 課	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 警防救助業務の事務に関する事。 2 消防相互応援協定に関する事。 3 緊急消防援助隊の応援及び受援の計画に関する事。 4 職員の招集及び出動計画に関する事。 5 職員の安全管理に関する事。 6 職員の教育、研修及び訓練の計画に関する事。 7 職員の資格取得等に関する事。 8 特殊災害の調査及び研究に関する事。 9 消防車両の登録、更新及び検査に関する事。 10 各種災害情報等の収集及び伝達に関する事。 11 人吉球磨消防指令センターその他消防に係る関係機関との連絡及び調整に関する事。 12 熊本県防災行政無線の運用及び管理に関する事。 13 一般住民等の表彰に関する事。 14 国民保護に関する事。 15 開発行為に関する事。 16 その他警防救助業務の事務に関する事。

警 防 課	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 救急業務の事務に関する事。 2 救急隊の運用及び訓練計画に関する事。 3 救急統計に関する事。 4 医療関係機関との連絡調整に関する事。 5 メディカルコントロール協議会に関する事。 6 救急隊員の教育研修及び訓練の計画に関する事。 7 職員の健康診断、抗体検査及びワクチン接種等に関する事。 8 救急医療情報に関する事。 9 その他救急業務に関する事。
通信指令課	通 信 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 災害に係る通信及び指令に関する事。 2 通信に係る関係機関との連絡及び調整に関する事。 3 無線従事者及び通信に係る者の指導及び教育に関する事。 4 各種災害の情報収集、伝達及び広報に関する事。 5 火災警報の発令に関する事。 6 気象情報、災害情報及び救急医療情報の連絡に関する事。 7 通信指令業務の企画立案に関する事。 8 通信設備の運用及び維持管理更新に関する事。 9 通信指令に係る支援情報の管理に関する事。 10 消防緊急情報システムの運用及び管理に関する事。 11 災害に係る情報公開に関する事。 12 その他通信指令業務に関する事。

2 消防署の事務分掌

消 防 課	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 警防及び救助業務の実施に関する事。 2 消防相互応援協定に基づく出動に関する事。 3 緊急消防援助隊の出動に関する事。 4 救助技術訓練の指導及び大会運営に関する事。 5 防災警備に関する事。 6 消防職員、消防団員及び自主防災組織等の訓練指導に関する事。 7 中央署内の庶務に関する事。 8 消防活動上の地理及び水利に関する事。 9 備品管理に係る事務に関する事。 10 消防機械器具の管理及び取扱いに関する事。 11 消防車両の整備、改善及び使用に関する事。 12 庁舎施設の維持管理に関する事。 13 総務課総務係及び財政係の所管する事務の補助に関する事。 14 その他警防及び救助業務の実施に関する事。
-------------	-------------	--

消 防 課	予 防 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 防火対象物の立入検査に関する事。 2 予防関係の届出等に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱いに関する事。 4 自衛消防隊の指導及び育成に関する事。 5 火災予防に関する事。 6 防火対象物の避難管理に関する事。 7 予防課予防係及び危険物係の所管する事務の補助に関する事。 8 その他予防業務の実施に関する事。
	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> 1 救急業務の実施に関する事。 2 救急隊員の教育訓練に関する事。 3 救急隊員の安全管理に関する事。 4 救急技術の調査及び研究に関する事。 5 救急報告及び救急統計に関する事。 6 応急手当の普及に関する事。 7 救急資機材の維持管理に関する事。 8 その他救急業務の実施に関する事。
	火 災 調 査 室	<ul style="list-style-type: none"> 1 火災の原因及び損害の調査に関する事。 2 火災の報告及び火災統計に関する事。 3 り災証明に関する事。 4 その他火災調査業務の実施に関する事。
	情 報 管 理 室	<ul style="list-style-type: none"> 1 情報システムの維持管理、導入に関する事。(指令台に付属するものを除く。) 2 情報セキュリティポリシーの策定、周知及び運用並びに情報モラルに関する事。 3 情報システムの操作及び導入に関する事。 4 消防情報の収集、記録及び連絡調整に関する事。 5 消防統計、消防年報及び広報(ホームページ含む)に関する事。 6 その他情報管理業務の実施に関する事。

◆ 職員の配置状況と階級別現員

		総計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監
総計(名)		111	15	24	26	22	19	4 (3)	1
消防本部	計(名)	29 (3)	4	3	4	8	6	3 (3)	1
	消防長	1							1
	消防次長								
	危機管理監								
	首席審議員	3						3	
	会計管理者	1					1		
	総務課	6 (1)		2	2	1	1	(1)	
	含総務課付	5	4			1			
	予防課	5		1	2	1	1		
	警防課	2 (1)				2		(1)	
通信指令課	6 (1)				3	3	(1)		
中央消防署	計(名)	82	11	21	22	14	13	1	
	署長	1						1	
	首席審議員								
	副署長								
	中央署	45	7	10	12	10	6		
	東分署	9	2	2	3	1	1		
	西分署	9		5	1	1	2		
	北分署	9	1	2	3	1	2		
	中分署	9	1	2	3	1	2		

※ () は兼務

◆ 勤続年数別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	消 防 司令長	消防監
合 計 (名)	111	15	24	26	22	19	4	1
平均 (年)		1.7	8.3	13.8	21.9	30.3	36.5	36.0
0~1	4	4						
1~2	4	4						
2~3	3	3						
3~4	2	2						
4~5	1	1						
5~6	1	1						
6~7	9		9					
7~8	1		1					
8~9	3		3					
9~10	2		2					
10~11	6		6					
11~12	3		2	1				
12~13	8			8				
13~14	2		1	1				
14~15	7			7				
15~16	5			5				
16~17	2			2				
17~18	2			2				
18~19	3				3			
19~20	1				1			
20~21	6				6			
21~22	3				3			
22~23	1				1			
23~24								
24~25	2				2			
25~26	3				3			
26~27	1				1			
27~28	5				2	3		
28~29	2					2		
29~30	8					8		
30~31								
31~32								
32~33	1					1		
33~34								
34~35	1					1		
35~36	6					4	2	
36~37	1							1
37~38	1						1	
38~39								
39~40	1						1	

◆ 年齢別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	消 防 司令長	消防監
合 計	111	15	24	26	22	19	4	1
平均（年齢）	36.7	21.4	28.8	34.6	42	50.2	56.3	54
18								
19	2	2						
20	4	4						
21	3	3						
22	3	3						
23	1	1						
24	2	1	1					
25	2		2					
26	2		2					
27	4	1	3					
28	5		5					
29	2		2					
30	2		1	1				
31	6		4	2				
32	5		2	3				
33	3		1	2				
34	3			3				
35	5			5				
36	5		1	4				
37	5			4	1			
38	5			1	4			
39	2			1	1			
40	1				1			
41	3				3			
42	2				2			
43	3				3			
44	2				2			
45	4				3	1		
46	1					1		
47	5					5		
48	2				1	1		
49	2				1	1		
50								
51	1					1		
52	3					3		
53	2					2		
54	4					3		1
55	3					1	2	
56	1						1	
57								
58								
59	1						1	
60								

◆ 消防予算

【歳入】

	令和6年度		令和7年度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
分担金及び負担金	1,056,485	76.98	1,045,209	69.86
使用料及び手数料	650	0.05	650	0.04
寄付金	1	0.00	1	0.00
諸収入	3,305	0.24	3,421	0.23
組合債	302,600	22.05	440,200	29.42
国庫支出金	1	0.00	1	0.00
県支出金	614	0.04	870	0.06
財産収入	5	0.00	8	0.00
繰入金	4,828	0.35	1,850	0.12
繰越金	4,000	0.29	4,000	0.27
歳入合計	1,372,489	100	1,496,210	100

【歳出】

	令和6年度		令和7年度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
人件費	793,109	57.79	809,510	54.11
物件費	80,889	5.89	129,821	8.68
維持補修費	950	0.07	950	0.06
扶助費	15,680	1.14	24,700	1.65
補助費等	4,261	0.31	11,787	0.79
普通建設事業費	348,343	25.38	449,021	30.01
災害復旧事業費	0	0.00	0	0.00
公債費	127,252	9.27	68,412	4.57
積立金	5	0.00	9	0.00
予備費	2,000	0.15	2,000	0.13
歳出合計	1,372,489	100	1,496,210	100

◆ 職員の教育実施状況

1 消防学校及び消防大学校入校

	昭和53年から平成26年までの合計	平成(年度)				令和(年度)						計(名)	
		27	28	29	30	元	2	3	4	5	6		
熊本県消防学校	初任科	106	4	9	3	5	4	6	2	2	3	4	148
	初級幹部科	26	2		2					1		1	32
	警防科	34	2				2		1		2		41
	救助科	62	2	2	2	1	2		1	1	5	6	84
	予防科	34											34
	危険物科	6	2			2					2		12
	予防査察科	8		2						1		1	12
	救急科	113	5	3	3	4	6	3	5	6	6	4	158
	指導員研修	38				2			2	2		2	46
	火災調査科	28				2	2		1		1		34
	特殊災害科	10				2	1		1			2	16
	中級幹部科	10		2		2	2		1				17
	上級幹部科	4											4
	警防隊員研修						2		1	1	2	1	7
	気管挿管講習	15	2										17
計(名)	494	19	18	10	20	21	9	15	14	21	21	662	

消防大学校	幹部科(上級も含む)	15	1	1	1						1		19
	警防科	10			1								11
	予防科	8	1				1						10
	危険物科	2		1								1	4
	救急科	9									1		10
	救助科	4							1				5
	火災調査科	2									1		3
	新任教官科	3				1							4
	違反是正特別講習	2											2
	計(名)	55	2	2	2	1	1	0	1	0	3	1	68

2 救急救命士資格・気管挿管認定・薬剤投与認定取得状況

	平成3年から平成26年までの合計	平成(年度)				令和(年度)						計(名)	
		27	28	29	30	元	2	3	4	5	6		
救急救命士	20	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	32
気管挿管	21	2	3	3	3	2	1	1	2	2	2	2	42
薬剤投与	22	2	2	2	3	3	2	1	2	1			40
処置拡大2行為		4	2	7	8	6	2	1	2	1			33

◆ 職員の特殊技能・資格取得状況

		合 計	消 防 士	消 防 副 士 長	消 防 士 長	消 防 司 令 補	消 防 司 令	消 防 司 令 長	消 防 監
職員 数		111	15	24	26	22	19	4	1
車両等	大 型 1 種	95	1	22	26	22	19	4	1
	中 型	4		1	3				
	普 通 1 種	111	15	24	26	22	19	4	1
	自 動 二 輪	62	4	11	11	15	18	2	1
その他 の 免 許 資 格	特 殊 無 線 技 士	103	7	24	26	22	19	4	1
	アマチュア無線技士	7					6	1	
	潜 水 士	79	1	11	24	20	18	4	1
	小 型 船 舶 操 縦 士	36		2	3	14	14	3	
	救 助 課 程 修 了 者	48		1	17	16	10	3	1
	救 急 救 命 士	41	4	10	10	9	6	1	1
	救 急 課 程 修 了 者	85	2	17	21	21	19	4	1
	応 急 手 当 指 導 員	100	4	24	26	22	19	4	1
	衛 生 管 理 者 (第 1 種)	5				1	3	1	
	甲 種 危 険 物 取 扱 者	4		1		2	1		
	乙 種 危 険 物 取 扱 者	96	6	22	23	22	18	4	1
	甲 種 消 防 設 備 士	3				2	1		
	乙 種 消 防 設 備 士	36	1	3	2	14	13	2	1
	酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者	25			7	10	5	3	
	特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者	7		2		4	1		
	ガ ス 溶 接 士	21		2	6	9	3	1	
	車 両 系 建 設 機 械 (整 地)	20		5	5	5	4	1	
	車 両 系 建 設 機 械 (解 体)	18		5	5	4	4		
	クレーン (5t未満含む)	66		8	22	20	14	2	
	玉 掛 技 能 者	53		5	18	18	9	2	1
電 気 工 事 士	6		1		4	1			
チェンソー教育	29		4	13	8	4			
予 防 技 術 検 定 (危 険 物)	16		1	4	6	4	1		
予 防 技 術 検 定 (設 備)	6		1		4	1			
予 防 技 術 検 定 (査 察)	34	1	4	10	9	7	3		
航 空 特 殊 無 線 技 士	2					1	1		
ド ロ ー ン	16	1	6	4	2	3			
ス イ フ ト ウ ォ ー タ ー	3		1	1	1				
テールゲートリフター	7		1	5	1				

消防活動

◆ 消防用車両配置状況

	車両名	車種名	型式	排気量	年式	無線呼出
本部・中央署	救急1号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H26	人消中央 1
	救急2号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H23	人消中央 2
	救急3号車	トヨタハイメディック	TC-VCH38S	3,370cc	H15	人消中央 3
	1号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA改	6,400cc	H27	人消中央1 1
	2号車	日野	2KG-GX2ABA	5,120cc	R6	人消中央1 4
	3号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA改	6,400cc	H30	人消中央1 3
	指揮1号車	トヨタハイエース	CBF-TRH226K	2,690cc	R1	人消中央3 1
	指揮2号車	トヨタランドクルーザープラド	3DA-GDJ150W	2,750cc	R3	人消中央3 2
	救助工作車	日野	2KG-GX2ABA	5,120cc	R5	人消中央5 1
	梯子車	日野梯子車専用シャシ	2DG-PR1APJF	8,860cc	H31	人消中央5 2
	資機材搬送車	三菱キャンター	TKG-FGB70	2,990cc	H25	人消中央5 3
	赤バイ1号	ホンダ	MD 31E	250cc	H9	
	赤バイ3号	ホンダ	MD 23E	220cc	H9	
	赤バイ5号	ホンダ	MD 23E	220cc	H9	
	赤バイ6号	ホンダ	BA-MC 34E	223cc	H15	
	災害救援車	ニッサンシビリアン	ABG-DJW41	4,470cc	H30	
	司令車	トヨタエスクァイア	DAA-ZWR80G	1,790cc	R1	
	事務連絡1号	ニッサンエクストレイル	DBA-T32	1,990cc	H30	
	事務連絡2号	ニッサンノート	DAA-HE12	1,190cc	H30	
	事務連絡3号	トヨタシエンタ	DBA-NSP170G	1,490cc	H28	
	予防査察車	ホンダエヌバン	HBD-JJ1	650cc	R1	
	小型搬送車	ダイハツハイゼット	EBD-S510P	650cc	H28	
	重機	コベルコSK55SR-6E	PSO4012925	2,189cc	R2	
重機搬送車	いすゞフォワード	2KG-FVZ60U2	7,790cc	R2		
東分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R4	人消東 1
	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H29	人消東1 1
	錦町多機能車	ニッサン	LDF-CW8E26	2,480cc	H31	
西分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H30	人消西 1
	タンク車	日野デュトロ	2KG-XZU685M	4,000cc	R4	人消西1 1
北分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R6	人消北 1
	タンク車	日野デュトロ	2KG-XZU685M	4,000cc	R3	人消北1 1
	広報車	ニッサンAD	E-WFNY10改	1,490cc	H7	人消北3 1
中分署	高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R3	人消中 1
	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H30	人消中1 1
	広報車	ニッサンAD	GJ-VFY11	1,490cc	H12	人消中3 1

◆ 消防用特殊資機材保有状況

品名・規格	数量	配置部署					
		中央署	東分署	西分署	北分署	中分署	
救助器具	マンホール救助器具	1	1				
	鍵付きはしご	7	3	1	1	1	1
	三連はしご	7	5	1		1	
	安全マット	5	5				
	救命索発射装置	1	1				
	サバイバースリング	1	1				
	エバックハーネス	1	1				
	救助マット	1	1				
	山岳救助資機材一式	2	2				
	バスケットストレッチャー	2	2				
	スクッドストレッチャー	1	1				
破壊用具	エンジンカッター	5	1	1	1	1	1
	チェーンソー	6	2	1	1	1	1
	酸素溶断器	1	1				
	電動ハンマドリル	1	1				
	油圧式救助器具	1	1				
	エアーソー	2	2				
	エアーカッター	1	1				
	電動切断機	1	1				
水難救助用具	ヘルメット	5	5				
	PFD	5	5				
	救命胴衣	196	120	15	15	15	31
	スローバック	15	9	1	3	1	1
	救命浮環	22	17	1	1	2	1
	救命ボート	12	9	1	1		1
	船外機	5	5				
	潜水器具一式	11	11				
測定器	検知管式ガス測定器	2	2				
	複合ガス測定器	1	1				
	炭化測定器	3	1	1	1		
	放射温度計	5	1	1	1	1	1
	放射線個人線量計	7	7				
	表面汚染検査計	3	3				
	ガンマ線・エックス線用線量率計	4	4				

品名・規格		数量	配置部署				
			中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救急用資機材	自動式人工呼吸器	6	2	1	1	1	1
	自動心マッサージ器	4		1	1	1	1
	電動式吸引器	10	6	1	1	1	1
	陰圧式固定具（全身）	1				1	
	陰圧式固定具（部分）	6	3	1	1	1	
	訓練用人形	63	55	2	2	2	2
	自動体外式除細動器	10	6	1	1	1	1
	患者監視装置	7	3	1	1	1	1
	エアートント （多数傷病者救護所）	2	2				
	オゾン殺菌脱臭機	5	1	1	1	1	1
その他	空気呼吸器	44	32	3	3	3	3
	投光器	14	9	2	1	1	1
	発電機	14	8	1	1	2	2
	ジェットシューター	18	5	4	3	3	3
	ジェットシューター給水器	2	1			1	
	可搬消防ポンプ	7	4	1	1	1	
	送排風機	2	2				
	可搬ウィンチ	2	2				
	張力計	3	3				
	耐電服	8	8				
	耐電手袋（高圧）	12	8		2	2	
	耐電長靴	8	8				
	エアークンプレッサー	5	1	1	1	1	1
	空気充填設備	1	1				
	暗視カメラ	1	1				
	熱画像直視装置	1	1				
	簡易画像探査機	1	1				
消防活動用無人航空機 （ドローン）	1	1					

◆ 消防水利

種 別		市町村別						計
		人 吉 市	錦 町	相 良 村	五 木 村	山 江 村	球 磨 村	
消 火 栓	基 準 適 合	377	83	55	1	17	43	576
	基 準 適 合 外	178	210	88	21	65	80	642
	小 計	555	293	143	22	82	123	1,218
防 火 水 槽	2 0 m ³ 未 満	10	114	43	9	5	48	229
	2 0 m ³ 以上 4 0 m ³ 未 満	99	17	5	0	11	15	147
	4 0 m ³ 以上 6 0 m ³ 未 満	160	130	87	47	78	24	526
	6 0 m ³ 以上 1 0 0 m ³ 未 満	0	1	2	0	0	1	4
	1 0 0 m ³ 以 上	0	1	1	0	0	1	3
	小 計	269	263	138	56	94	89	909
プ ー ル		16	6	4	3	3	6	38
計		840	562	285	81	179	218	2,165

◆ 救助業務

1 救助の概要

種 別		年 別				
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火 災	出場件数	1	1	2	1	3
	活動件数		1	2	1	3
	救助人員				1	2
交通 事故	出場件数	20	15	27	14	30
	活動件数	13	8	16	7	20
	救助人員	13	8	25	8	19
水 難 事 故	出場件数	1	3	4	4	2
	活動件数	1	2	4	2	
	救助人員	1	2	4	2	
風 水 害 等 自 然 災 害	出場件数	37	1	1		
	活動件数	29	1	1		
	救助人員	238	1	4		
機 械 に よ る 事 故	出場件数	1	1	2		1
	活動件数	1	1	1		1
	救助人員	1	1	1		1
建 物 等 に よ る 事 故	出場件数	5	4	2	1	5
	活動件数	3	2		1	3
	救助人員	3	2		1	3
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出場件数	1				
	活動件数	1				
	救助人員	2				
爆 発 事 故	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他 の 事 故	出場件数	9	9	13	17	13
	活動件数	6	5	10	12	12
	救助人員	7	5	10	13	15
総 計	出場件数	75	34	51	37	54
	活動件数	54	20	34	23	39
	救助人員	265	19	44	25	40

2 救助技術大会出場の変遷

平成16年～令和6年

出場年	出場種目	九州地区指導会	全国大会	備考
平成16年	ロープ登はん ロープブリッジ救出 引揚救助 ほふく救出	1名 1チーム 1チーム 1チーム	1名 1チーム	陸上の部
	水中結索 水中検索救助	2チーム 1チーム	1チーム	
平成17年	ロープ登はん ロープブリッジ救出 ほふく救出	1名 1チーム 1チーム	1チーム	陸上の部
	水中結索 水中検索救助	1チーム 1チーム	1チーム	
平成18年	ロープブリッジ救出 ほふく救出 引揚救助	1チーム 県大会1位通過 全国決定 1チーム	1チーム 1チーム	陸上の部
	水中結索 水中検索救助	1チーム 1チーム	1チーム	
平成19年	水中結索 水中検索救助	1チーム 1チーム	1チーム	水上の部
平成20年	水中結索 水中検索救助	2チーム 1チーム	1チーム 1チーム	水上の部
平成21年	ロープブリッジ救出 水中結索	1チーム 県大会1位通過 全国決定	1チーム	陸上の部 水上の部
平成22年	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
平成23年	東日本大震災により大会中止			
平成24年	引揚救助	1チーム		陸上の部
平成25年	—	—	—	—
平成26年	—	—	—	—
平成27年	基本泳法	県大会2位通過 全国決定	1名	水上の部
平成28年	人命救助	熊本地震により県大会中止 各本部割り当てで全国決定	1チーム	水上の部
平成29年	ロープブリッジ救出	1チーム		陸上の部
平成30年	ロープブリッジ救出	1チーム	台風20号の影響により 全国大会中止	陸上の部
令和元年	ロープブリッジ救出 ほふく救出	1チーム 県大会1位通過 全国決定	1チーム 1チーム	陸上の部
	基本泳法	県大会1位通過 全国決定	1名	
令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止			
令和3年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止			
令和4年	ロープブリッジ救出	1チーム	—	陸上の部
令和5年	基本泳法 複合検索 溺者搬送	—	3チーム	水上の部
令和6年	ロープブリッジ救出	1チーム	—	陸上の部

◆ 火災統計

1 原因及び火災種別出火件数

火災種別 原因別	建 物 火 災			林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	爆 発	合 計
	専共併 用同用 住 宅	倉庫・畜舎・納屋	工場の他 ・学・校・飲 ・食・店・店 ・舗・					
火 入 れ								0
放 火		1	1					2
放 火 の 疑 い			1					1
た き 火								0
焼 却 火		1				2		3
た ば こ					1	1		2
火 遊 び						2		2
こ ん ろ	1							1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー								0
コ ン セ ン ト								0
ス ト ー ブ								0
配 線 器 具		1			1			2
電 気 機 器	2		1			1		4
ボ イ ラ ー								0
電 気 装 置		1						1
電 灯 電 話 等 の 配 線	2					1		3
排 気 管						2		2
風 呂 か ま ど								0
そ の 他	1	1	1		3	1		7
不 明 ・ 調 査 中	1		1		2			4
合 計	7	5	5	0	7	10	0	34

2 火災出場状況

区分 月別	火災件数（件）					焼損棟数（棟）							
	計	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	住宅	非住宅
令和3年	30	10	1	7		12	14	4		3	7	7	7
令和4年	34	18	4	2		10	33	15		11	7	15	18
令和5年	19	9	1	1		8	11	3	1	4	3	6	5

令和6年	34	17		7		10	22	10		5	7	9	13
1 月	3	2				1	3	2			1	2	1
2 月	3	1		1		1	1				1		1
3 月	1			1									
4 月													
5 月	2	1				1	1	1				1	
6 月	3	1		1		1	1	1					1
7 月	2	1		1			1				1		1
8 月	5	2		2		1	3	2		1		1	2
9 月	3	1				2	1				1		1
10 月	1					1							
11 月	6	3		1		2	6	2		3	1	2	4
12 月	5	5					5	2		1	2	3	2

人吉市	15	7		2		6	11	5		4	2	6	5
錦町	6	3		1		2	4	3		1		2	2
相良村	3	3					3	1			2		3
五木村	2	2					2				2		2
山江村	6	1		4		1	1				1		1
球磨村	2	1				1	1	1				1	

※調査中の火災を除く

令和7年度全国統一防火標語

急ぐ日も

足止め火を止め

準備よし

焼 損 面 積			罹災世帯数	罹災人員	死者数	負傷者数	損(千円額)
建物 (m ²)		林野 (a)					
床	表面						
303	19	33	5	11		4	11,735
1,241	110	28	15	37	2	1	81,919
445	58		6	12	1	1	23,800

1,196	55	431	9	16	1	4	32,240
256	5		2	6			3,805
							2,533
						1	9
159			1	1			2,319
146						1	2,280
							2,718
145		431	1	2		1	3,992
							1,511
217	48		2	4	1		3,849
273	2		3	3		1	9,224

623	53	431	6	11	1	3	14,413
377	2		2	4			8,197
37							176
							63
						1	7,072
159			1	1			2,319

◆ 救急統計

1 救急の概要

月 別	出 場 件 数	搬 送 人 員	救急事故種別（出場件数）		
			火 災	自然災害	水 難
令和3年	2,796	2,629	5	1	3
令和4年	3,098	2,942	13	1	4
令和5年	3,115	2,919	10		3

令和6年	3,318	3,139	14		1
1 月	256	244	1		
2 月	255	240			
3 月	261	245	1		
4 月	245	231			
5 月	279	264	1		1
6 月	227	215	1		
7 月	358	340	2		
8 月	340	324	4		
9 月	268	253			
10 月	243	227			
11 月	252	236	2		
12 月	334	320	2		

人吉市	2,055	1,952	6		1
錦 町	528	500	4		
相良村	281	263	1		
五木村	84	78			
山江村	143	133			
球磨村	193	186	1		
高速道路	34	27	2		
管轄外					

救急事故種別（出場件数）

交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他
136	39	16	429	6	26	1,828	307
172	42	12	482	10	20	2,039	303
158	31	22	496	6	18	2,041	330

162	61	30	501	2	16	2,184	347
13	1		35		3	183	20
8	5		31		2	177	32
15	3		35		2	181	24
12	2	3	36			161	31
14	6	3	45		1	182	26
5	3	4	34		1	149	30
16	8	9	57		4	234	28
16	17	3	55	1		207	37
12	3	4	49		1	175	24
19	6	2	32		1	155	28
16	4		43		1	161	25
16	3	2	49	1		219	42

88	19	22	302	1	10	1,293	313
31	20	6	91	1	4	365	6
10	8	1	42		2	205	12
3	4		11			58	8
4	5		22			109	3
6	4	1	33			144	4
20	1					10	1

2 曜日別・時間別救急出場件数

事故種別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
区分		計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	他
計		3,318	14	0	1	162	61	30	501	2	16	2,184	347
曜日	月	493				25	10	1	83		6	315	53
	火	498	3		1	19	7	3	73			338	54
	水	445	4			23	9	3	44	1	5	306	50
	木	467				15	12	2	59		1	318	60
	金	495	4			34	13	3	80	1		300	60
	土	479	2			19	9	8	86		3	313	39
	日	441	1			27	1	10	76		1	294	31
時間別	0~2	143							11	1		119	12
	2~4	96							10			79	7
	4~6	133				2			17			106	8
	6~8	255				13	2		45		2	185	8
	8~10	432	4			18	5	4	88		2	259	52
	10~12	410	4			15	18	9	61			234	69
	12~14	385	1			22	15	4	56		5	231	51
	14~16	340	1			27	13	3	53		1	195	47
	16~18	380				34	8	3	64		2	223	46
	18~20	341	2		1	19		3	54		3	238	21
	20~22	227				11		4	19		1	180	12
	22~24	176	2			1			23	1		135	14

3 救急事故種別搬送状況

種別 区分	合計	事故種別											不搬送	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
出場件数	3,318	14		1	162	61	30	501	2	16	2,184	347		
傷病者搬送件数	3,127	3		1	142	58	29	484	1	13	2,094	302	191	
搬送人員	男	1,578	2		1	89	48	16	208	1	5	1,056	152	
	女	1,561	1			63	10	13	276		8	1,040	150	
	計	3,139	3	0	1	152	58	29	484	1	13	2,096	302	

4 傷病程度別搬送人員

種別 区分	合計	事故種別											
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
死亡	0												
重症	134	2		1	5	3		10		3	87	23	
中等症	1,801				50	27	8	268		6	1,163	279	
軽症	1,204	1			97	28	21	206	1	4	846		
その他	0												
合計	3,139	3	0	1	152	58	29	484	1	13	2,096	302	

5 救急隊員が行った応急処置件数

項目	事故種別				合計
	急病	交通事故	一般負傷	その他	
対象人員	2,096	152	484	407	3,139
止血	14	6	39	5	64
固定	4	91	52	22	169
人工呼吸	5		1		6
胸骨圧迫	2				2
心肺蘇生	50	1	5	3	59
酸素吸入	496	22	44	130	692
気道確保	80	1	11	10	102
（うち経鼻エアウェイ）	2				2
（うち喉頭鏡・鉗子等）	2		1		3
（うちリングアルチューブ等）					0
（うち気管挿管チューブ）	1		1		2
保温	502	29	94	85	710
被覆	4	32	81	21	138
在宅療法継続	2				2
ショックパンツ					0
除細動	7			1	8
静脈路確保	26	3	4	8	41
（うちCPA前）	3	2	3	4	12
（うちCPA後）	21	1	1	4	27
薬剤投与	17		1	3	21
血糖測定	24		1		25
エピペン投与					0
ブドウ糖投与	2				2
血圧測定	2,022	149	466	389	3,026
聴診器（心音・呼吸音）聴取	446	66	41	35	588
血中酸素飽和度の測定	2,053	150	478	403	3,084
心電図モニター	1,292	43	125	133	1,593
その他の応急処置	2,065	149	479	370	3,063
合計	9,142	745	1,928	1,626	13,441

6 医療機関別搬送状況

医療機関									その他の場所	合計
救急告示医療機関					その他の医療機関					
国・公立	公的	私的		小計	国・公立	公的	私的		小計	
		病院	診療所				病院	診療所		
53	1,950	1,032	0	3,035	0	0	28	74	102	3,139

◆ 通信関係

1 無線設備配置状況

1) デジタル無線

基地局	6局
固定局	3局
陸上移動局	34局 (車載型 21局 / 携帯型 12局 / 卓上型 1局)
無線種別	活動波 1
	活動波 2
	主運用波 7
	統制波 1
	統制波 2
	統制波 3

無線従事者	陸上特殊無線技士107名(航空特殊無線技士2名含) ≪ 1級陸上(1名) 2級陸上(33名) 3級陸上(73名) ≫
-------	---

消防本部・中央消防署	
ひとしょうほんぷ	
固定局 高塚山向け	1mW
陸上移動局	
車載型 5W	11局
卓上型 5W	1局
携帯型 1W	8局

中央消防署東分署	
ひとしょうひがし	
陸上移動局	
車載型 5W	2局
携帯型 1W	1局

中央消防署西分署	
ひとしょうにし	
陸上移動局	
車載型 5W	2局
携帯型 1W	1局

中央消防署北分署	
ひとしょうきた	
陸上移動局	
車載型 5W	3局
携帯型 1W	1局

中央消防署中分署	
ひとしょうなか	
陸上移動局	
車載型 5W	3局
携帯型 1W	1局

高塚山	
ひとしょうたかつかやま	
基地局	10W
固定局 本部向け	1mW
固定局 八原向け	200mW

八原	
ひとしょうやつはる	
基地局	10W
固定局 高塚山向け	200mW

球磨村役場	
ひとしょうくまむらやくば	
基地局	10W

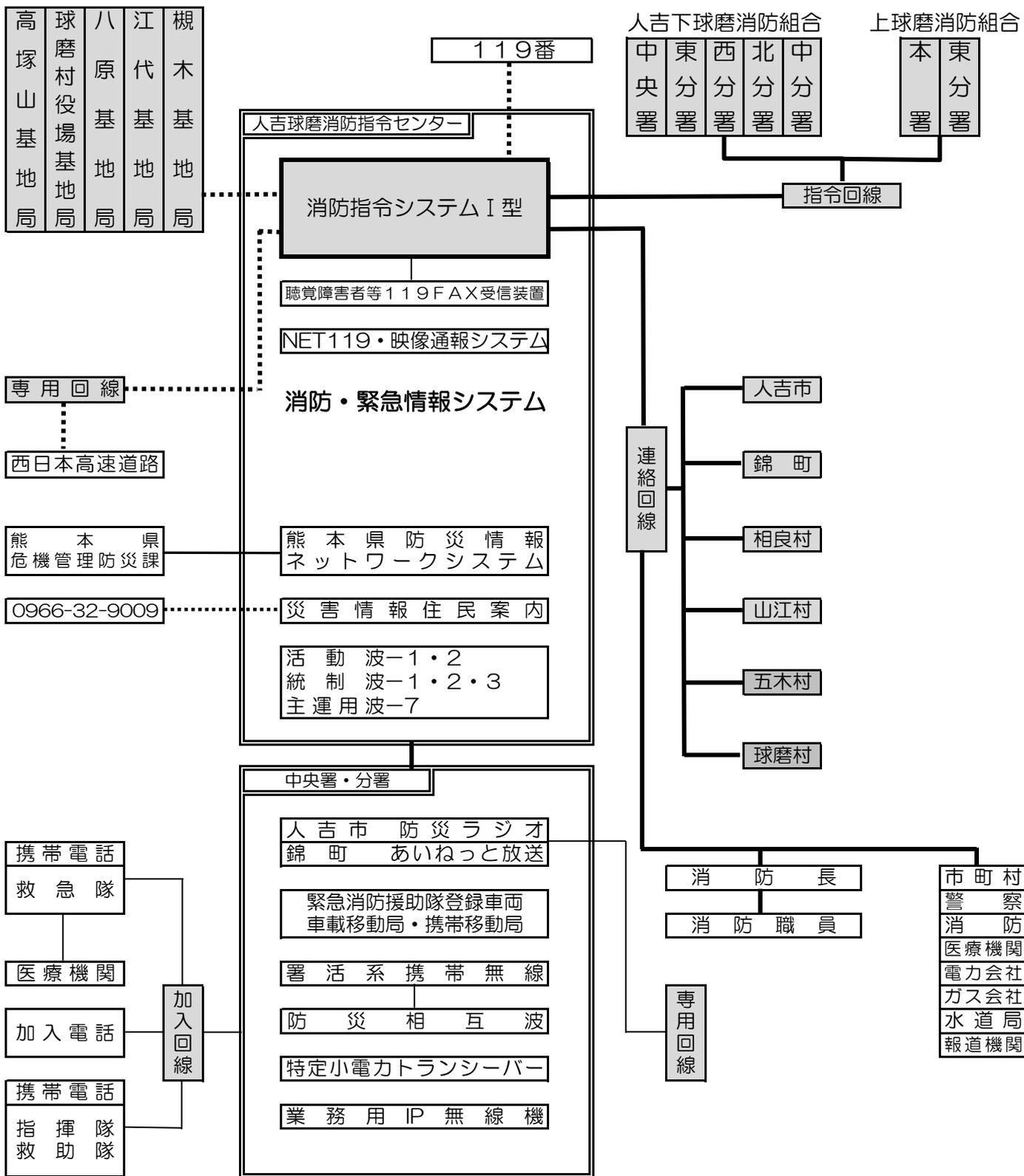
一般国道トンネル	
しょうぼう	
きゅうしちとんねる	
基地局	20W

高速道路トンネル	
ひとしょうひごトンネル	
基地局	20W
ひとしょうかくとう	
基地局	10W

2) アナログ無線 陸上移動局(携帯型 署活系無線機1W) 5局

3) 業務用IP無線 25局(車載型1局 携帯型23局 卓上型1局)

消防通信系統図（共同運用）



署 所	一般加入電話
消防本部・中央署（人吉市）	0966-22-5241
ダイヤルイン受付	0966-22-5469
中央消防署東分署（錦町）	0966-38-0119
中央消防署西分署（球磨村）	0966-32-0119
中央消防署北分署（五木村）	0966-37-2119
中央消防署中分署（相良村）	0966-24-1243
人吉球磨消防指令センター（多良木町）	0966-42-9119

予防業務

◆ 防火対象物現況

令別表項目別		対 象 物 等	防火対象物数 150㎡以上 (17項を除く)	防 火 管 理 者		点検が必要 な 防火対象物
				必要な 施設数	届出数	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	1
	ロ	公会堂又は集会場	36	30	24	36
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	1	1	1	1
	ロ	遊戯場又はダンスホール	4	4	4	5
	ハ	風俗営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ店等	2	2	2	3
3	イ	待合・料理店の類				
	ロ	飲食店	60	42	38	180
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	112	67	62	110
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	42	16	16	86
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	424	37	9	421
6	イ	病院・診療所・助産所	60	25	25	60
	ロ	老人・児童福祉施設等で介護程度の 重いものが入所する施設	31	22	21	32
	ハ	上記以外の福祉施設及び保育所等	94	40	40	95
	ニ	幼稚園・盲・聾・養護学校	3	3	3	3
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	108	26	26	95
8		図書館・博物館・美術館	13	3	3	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場	11	5	5	11
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	3	1	1	1
11		神社・寺院・教会の類	40	25	18	27
12	イ	工場・作業場	338	16	15	332
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫・駐車場	28			28
	ロ	飛行機・回転翼・航空機の格納庫				
14		倉庫	199			190
15		前各項に該当しない事業場	556	45	42	392
16	イ	令別表(1)～(5)イ・(6)・(9)イの用途 に供する部分のある複合用途対象物	266	100	93	239
	ロ	イ以外の複合用途対象物	148	8	5	91
17		文化財・重要文化財	22	1	1	21
合 計			2,602	520	455	2,467

◆ 管内中高層建築物現況

令別表項目別		区分		3	4	5	6	7	合
		階	階	階	階	階	階	階以上	計
合計		301	72	37	9	19	438		
市 町 村 別	人吉市	271	69	37	9	18	404		
	錦町	18	2				20		
	相良村	4	1				5		
	五木村	4					4		
	山江村						0		
	球磨村	4				1	5		

◆ 防火管理者講習会実施状況

年 度	実 施 月 日	受講者数
平成28年度	10月6日～7日	72
平成29年度	9月28日～29日	65
平成30年度	9月27日～28日	55
令和元年度	9月26日～27日	51
令和2年度	10月13日～14日	33
	11月19日～20日	24
令和3年度	9月28日～29日	30
	10月4日～5日	29
令和4年度	9月13日～14日	18
	10月19日～20日	25
令和5年度	10月26日～27日	51
令和6年度	10月23日～24日	39

◆ 消防法令に基づく各種届出

令和6年度中

種 別	月 別												合 計 (名)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消防計画届出書	34	13	4	17	16	8	11	16	10	5	7	8	149
防火管理者選解任届出書	15	9	2	9	12	6	6	11	10	5	3	3	91
消防用設備等着工届出書	1	4	0	2	2	3	2	1	7	0	0	2	24
消防用設備等設置届出書	9	5	4	11	3	2	3	9	2	3	6	6	63
消防用設備等点検結果報告書	67	64	74	90	117	98	95	71	73	79	65	71	964
防火対象物使用開始届出書	3	3	0	4	1	1	1	3	0	3	2	3	24
消防訓練実施計画報告書	32	40	29	25	19	41	93	76	35	32	39	51	512
消防訓練実施結果報告書	35	29	29	19	19	31	40	69	37	19	18	45	390
煙火打ち上げ・仕掛報告書	1	12	2	7	2	15	7	5	1	0	2	0	54
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出書	1	3	0	0	0	1	2	0	2	3	2	2	16
炉・かまど・ボイラー乾燥設備設置届出書	2	1	1	0	0	0	1	1	3	4	1	0	14
発電・変電・蓄電池設置届出書	1	5	0	1	2	2	2	3	4	2	1	3	26
禁止行為の解除承認	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
露店等の開設届出書	4	7	2	13	10	5	14	7	2	4	7	3	78
圧縮アセチレンガス等貯蔵届出書	1	1	0	2	1	1	2	0	2	3	0	1	14
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生する行為	21	39	17	19	20	27	35	49	85	67	47	32	458
計	228	235	164	219	224	243	314	321	273	229	200	230	2,880

◆ 建築物の同意件数

令和6年度中

市町村別	月 別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人吉市	4	5	4	11	2	2	5	8	10	4	5	5	65
錦町													0
相良村		1			1								2
五木村													0
山江村													0
球磨村			1		2				2				5
合計	4	6	5	11	5	2	5	8	12	4	5	5	70
新築	2	4	4	10	3	1	2	5	11	2	4	5	53
増築	2	1	1	1	2	1	2	3	1	2			16
改築													0
用途変更		1											1
その他													0

◆ 危険物施設・規制事務状況

令和6年度中

施設区分	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				合計	
		貯蔵所内	夕屋外	夕屋内	夕地下	夕簡易	夕移動	貯蔵所外	取扱所油	販第一種	販第二種	取扱所般		
市町村	人吉市	1	11	13		31		14	3	20	1		25	119
	錦町		3	3	1	7		0		8			12	34
	相良村			3		4		5		9			1	22
	五木村		2					2		2				6
	山江村					2			0	3				5
	球磨村					1		1		3				5
合計	1	16	19	1	45	0	22	3	45	1	0	38	191	
規制事務	設置許可			1				1						2
	変更許可					1				3			24	28
	水圧(水張)検査													0
	完成検査			1		1		1		3			24	30
	仮使用承認					1				2			23	26
	廃止届		1			2			1	2				6
合計	0	1	2	0	5	0	2	1	10	0	0	71	92	

月 別	月 別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
届出認可等	6	26	6	6	9	2	3	3	3	4	1	6	75

消 防 団

幼少年消防クラブ

◆ 消防団の組織及び現有勢力

		人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
分団数		7	8	8	4	8	6	41
積載車		25	25	20	6	9	16	101
小型ポンプ		26	25	20	6	16	11	104
人 員	定員	559	350	350	130	200	258	1,847
	実員	268	340	253	72	193	185	1,311
	団長	1	1	1	1	1	1	6
	副団長	3	2	2	1	2	2	12
	方面隊長	5						5
	分団長	7	8	8	4	8	6	41
	副分団長	7		17	2	8	6	40
	部長	22	18	1	4	8	17	70
	班長	88	21	52	24	29	36	250
	団員	135	290	172	34	137	117	885

※本部分団・機能別分団・機能別分団員を含む

◆ 年齢別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
20歳未満	4			1	1	3	9
20歳以上30歳未満	52	74	26	14	17	18	201
30歳以上40歳未満	110	105	62	23	62	56	418
40歳以上50歳未満	95	109	84	20	64	66	438
50歳以上60歳未満	6	31	36	7	32	29	141
60歳以上70歳未満		20	45	7	17	13	102
70歳以上	1	1					2
合計	268	340	253	72	193	185	1,311

※本部分団・機能別分団・機能別分団員を含む

◆ 在職年数別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
5年未満	38	60	27	13	45	51	234
5年以上10年未満	45	56	79	19	28	33	260
10年以上15年未満	57	71	41	13	52	26	260
15年以上20年未満	60	74	24	8	35	30	231
20年以上25年未満	53	49	37	5	22	23	189
25年以上30年未満	13	18	31	6	6	19	93
30年以上	2	12	14	8	5	3	44
合計	268	340	253	72	193	185	1,311

※本部分団・機能別分団・機能別分団員を含む

◆ 幼年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	中原こども園幼年消防クラブ	昭和51年7月15日	20名
	泉田こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月8日	22名
	アヴニール・おこばこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月11日	17名
	蓬萊保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月13日	14名
	人吉こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月15日	10名
	善隣保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月18日	10名
	林保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月19日	16名
	認定こども園さざなみ保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月20日	17名
	あいだこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月21日	18名
	こばと保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月23日	18名
	せん月保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月28日	7名
	人吉乳児保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	17名
錦町	福島保育園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	24名
	サン保育園幼年消防クラブ	平成6年2月15日	20名
	一武こども園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	26名
	木上ひかり保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	13名
	西保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	24名
相良村	なつめ保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月13日	15名
	暁保育園幼年消防クラブ	昭和59年2月24日	10名
山江村	山江保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	8名
	章鹿倉保育園幼年消防クラブ	平成8年2月10日	18名
球磨村	こがね保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月28日	3名
五木村	いつき保育園幼年消防クラブ	昭和63年7月28日	10名
計 23クラブ			357名

◆ 保育園防火クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	泉田こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	21名
	アヴニール・おこばこども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	人吉こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	2名
	こばと保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	18名
	人吉乳児保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名
	善隣保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	10名
	林保育園防火クラブ	平成13年 4月 1日	10名
	中原こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	4名
	さざなみ保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名
	あいだこども園防火クラブ	平成21年 4月 1日	18名
錦町	福島保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	5名
相良村	なつめ保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	15名
山江村	章鹿倉保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名
計 13クラブ			164名

◆ 少年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	西瀬少年消防クラブ	平成28年 7月 3日	8名
計 1クラブ			8名

全国統一防火標語

令和7年度 『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

過去の全国統一防火標語

昭和41年度 火の始末 人に頼むな 任せるな	平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにしたその火
昭和42年度 さあねよう アッの前に 火の点検	平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで
昭和43年度 あなたは 火事の恐ろしさを 知らない	平成13年度 たしかめて。火を消してから 次のこと
昭和44年度 今捨てたタバコの温度が700度	平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに
昭和45年度 防火三百六十五日	平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ
昭和46年度 いま、燃えようとしている火がある	平成16年度 火は消した？いつも心に きいてみて
昭和47年度 慣れた火に 新たな注意	平成17年度 あなたです 火のあるくらしの 見張り役
昭和48年度 隣にも 声かけあって	平成18年度 消さないで あなたの心の 注意の火
昭和49年度 生活の 一部にしよう 火の点検	平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を
昭和50年度 幸せを 明日につなぐ 火の始末	平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする
昭和51年度 火災は人災 防ぐはあなた！	平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 ならめっこ
昭和52年度 使う火を 消すまで離すな 目と心	平成22年度 「消したかな」あなたを守る 合言葉
昭和53年度 それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心	平成23年度 消したはず 決めつけしないで もう一度
昭和54年度 これくらいと 思う油断を 火が狙う	平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない
昭和55年度 あなたです！火事を出すのも 防ぐのも	平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま
昭和56年度 毎日が 防火デーです ぼくの家	平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあただよ
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心	平成27年度 無防備は 心に火災が かくれんぼ
昭和58年度 点検は 防火のはじまり しめくくり	平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で
昭和59年度 “あとで” より “いま” が大切火の始末	平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に
昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」	平成30年度 忘れてない？サイフにスマホに 火の用心
昭和61年度 防火の大役あなたが主役	令和 元年度 ひとりずつ いいね！で確認 火の用心
昭和62年度 消えたかな！気になるあの火 もう一度	令和 2年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末！	令和 3年度 おうち時間 家族で点検 火の始末
平成 元年度 おとなりに あげる安心 火の始末	令和 4年度 お出かけは マスク戸締り 火の用心
平成 2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心	令和 5年度 火を消して 不安を消して つなぐ未来
平成 3年度 毎日が 火の元警報 発令中	令和 6年度 守りたい 未来があるから 火の用心
平成 4年度 点検を 重ねて築く “火災ゼロ”	
平成 5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事	
平成 6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心	
平成 7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心	
平成 8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ	
平成 9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火	
平成10年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火	

消防本部位置図



編集発行 人吉下球磨消防組合 情報管理室

〒868-0083 熊本県人吉市下林町1番地

TEL : (0966) 22-5241

FAX : (0966) 22-5240

MAIL : jouhoukanri@fire119-hitosho.com

ホームページ : <http://www.fire119-hitosho.com/>